

平成 27 年度 保護者会事業及び保育園行事報告書

実施月日	事業及び行事	内 容
4月1日(水)	入園式	
4月18日(土)	※保護者会総会・第1回役員会	新役員挨拶・保護者間交流
5月2日(金)	子どもの日	こいのぼり持ち帰り
5月23日(土)	親学の集い	プレイバックシアター
6月9(月)・10(火)	ぎょうちゅう検査	
6月11日(水)	歯科検診・内科検診	松茂内科・高瀬歯科
6月15(月)～6月26日(金)	個人懇談	
7月7日(火)	七夕	
7月25日(土)	※夕涼み会	ハレルヤスイーツキッチン
8月8日(土)～9日(日)	お泊り保育	きらら組・昨年卒園児
8月12日(水)～15日(土)	お盆希望保育	
9月上旬	敬老の日	葉書投函(子どもの写真のみ)
10月3日(土)	※親子ふれあいフェスティバル	松茂町第2体育館
10月31日(土)	親子遠足	徳島動物園
10月下旬	芋ほり	
11月上旬	消防自動車来園	避難訓練
11月16日(月)	異年齢保育説明会	つき組・そら・スター組
11月18日(水)	歯科検診・内科検診	
12月3日(木)	おもちつき	
12月24日(木)	クリスマス	
12月29日(火)～1月3日(日)	年末年始(休園)	
1月15日(金)	どんど焼き	どんど焼きの火でみかんを焼きます
1月17日(土)	わらべの集い	保護者の方に見ていただく
2月3日(火)	節分	
2月9日(月)～20日(金)	※個人懇談	
2月下旬	修了写真撮影	
3月3日(木)	ひなまつり	
3月16日(水)	遊山	お弁当を持って遊山に行く(つき・ほし組)
3月16(月)～18(水)	クラス懇談	新年度のクラスごとで集まり、懇談をする

<毎月>

身体測定、避難訓練、おはなしの日(ほし組)リトミック(きらら・スター)けん玉ファミリー・スマイルディ(おもちゃの貸し出し)があります。(毎月10日前後)
お誕生会は誕生日に1人ひとりをクラスでお祝いします。

※ ほし組より(4月～3月末)に保育参加(9時～昼食後)を行っております。

保育参加後は必ずお子様と降園お願いいたします

※ 乳児クラスは(9月～1月)ランチコミュニケーション(13:00～14:30)で園の様子をお伝えしたり、昼食の試食を行っております

ほし組は11月～3月の間、月一回お弁当持参日をもうけ、散歩に出かけます

きらら保育園重点事項考察

きらら保育園が開園されて13年が過ぎました。定員30名の乳児保育園から、定員60名就学前までの受け入れとなり、新入園児の中に「就学前まで預かってもらいたい」という希望が増え、就学前までの一貫した保育が少しずつですが、地域に根づいてきたように思います。

① 異年齢での育ち

幼児では異年齢保育が始まって7年目。異年齢保育の仕上げの年となる5歳児は、年長児としての自覚が芽生え、自分が3,4歳児の時に年長児に優しくしてもらった経験から、自然と下の子の面倒をみたり、リーダーシップをとる姿がみられました。4歳児はそんな5歳児の姿を見つつも、来年、自分が年長児となる準備期間としての心構えができてきているように感じます。また、年少児である3歳児も4,5歳に憧れ、特にけん玉に挑戦しようとする姿が目にとまりました。

② 保護者支援

年一回の親学の集いでプレイバックシアターを導入し、ワークショップを持った事で保護者間交流ができ、卒園式では第2部として保護者の方々の卒園式を行いました。保護者であり親であるという視点から、きららでの在園期間中の出来事をプレイバックシアターを通して再現することができました。保護者の方から、この大切な子育ての時期を共に過ごした思い出が語られ、温かな時間を共有することができました。

又、個人懇談では、全員、主任と担任を交えての懇談を行い、発達の気になるお子さんに対してのサポートを外部講師の天満病院言語聴覚士である赤壁先生に繋げることができ、保護者支援に繋がったのではないかと考えています。

③ 食育

保育参加の機会がない乳児の保護者に対し、昼食の試食ときららの食事のこだわりを月に一回、6か月間かけて保護者に伝えました。和食に対するこだわり、食器に対するこだわり、食べること＝生きる事として大切なお子さんを預けてくださる保護者の方に理解してもらおう事。このことを大切に続けていくことが大切だと考えています。

④ わらべうた

乳児は、特に0歳児をはじめとし、遠野のわたべうたを積極的に取り入れ、人と人との信頼関係づくりを大切にしました。人として真剣に向き合い、子どもの気持ちを起こすこと。この乳児期に人との愛着関係を築くことが子どもの人格形成にはとても大切です。また、その基盤を築いた上で幼児期の異年齢への関わりと繋がっていきます。人と人との関わり大切さをこれからも保育の中で伝え続けていきます。

⑤ 園庭整備

また、今年度は念願の幼児園庭が整備されました。開園当初からあった総合遊具とブランコを撤去し、砂場を増築しました。また、泥団子づくり場や植栽をし、土や水・木などの自然で子ども達が遊びを作り出していく園庭へと変化できたことを嬉しく思います。また、保護者の方の寄付金の協力より、雲梯も設置することができ、乳幼児ともに発達に応じた外遊びの確保ができ外遊びの充実を図ることができたこと嬉しく思います。

⑥ 資質向上

職員の人間力向上においては、昼礼での「きらら手帳」の活用、毎日のPDCAサイクルでの見直しが定着し、職員間で意見を出し合いながら、継続することができていること、また、月一回の職員会議でも、一人ひとりにアウトプットする力がつき、話し合いの内容も深まってきました。0歳から6歳までの幅広い子どもの育ちを園全体でバックアップできていると感じる機会が増え、これからも、職員の人財育成に力を注いでいきたいと思っています。